

活 動 記 録 書 (案)

開催日：平成30年11月1日(木) 天候 晴	開催テーマ：晩秋の深沢の里を訪ねる
開催場所：深沢・寺分・山崎	記入者：林 元一
参加人数： 会 員 男 27名 女 7名 計 34名 ビジター 男 0名 女 0名 計 0名 合 計 34名	
<p>実施内容</p> <p>コース： 湘南町屋駅(集合)→洲崎古戦場碑 → 泣塔 → 大慶寺 → 等覚寺(昇堂・法話拝聴) → 梶原一族の墓 → 御霊神社 → 鎌倉中央公園(昼食) → 北鎌倉駅(解散)</p> <p>湘南モノレール湘南町屋駅前に集合、爽やかな好天下、洲崎古戦場へと向かう。古戦場碑から古戦場跡の広場へと進む。この地で、元弘三年(1333)5月、鎌倉を攻める新田義貞の大軍に対し、北条守時を大将とする幕府軍が壮絶に戦ったが破れ守時は切腹した。泣塔は、この合戦の戦死者の慰霊のため23回忌の年に立てられた供養塔といわれる。</p> <p>大慶寺は、室町時代初期には関東十刹にも数えられた臨済宗円覚寺派の大寺院で塔頭も5院あったが、戦国時代の戦火や火災で仏殿と総門のみとなり本尊は塔頭の方外庵に安置された。昭和二十年(1945)円覚寺は、方外庵を大慶寺と改名し現在に至る。「寺分」の地名は大慶寺の寺領である「大慶寺分」の略。</p> <p>等覚寺は、高野山真言宗派の寺院でご本尊は不動明王。ここではご住職の法話をいただいた。山号が休場山である由縁は、梶原景時がこの地を通った際に休憩したからと言われているがそれは疑わしい。また本尊脇の出世子育地蔵は、最近では出生にご利益のあるお地蔵様として知られ、多くの参拝者が来られるとのお話があった。</p> <p>梶原一族の墓は深沢小学校の裏山のやぐらにあり小学校の許可を得て入場した。やぐらには梶原景時とその子、景季、景高、景茂の墓といわれる大小4基の五輪塔がならんでいる。梶原景時は源頼朝に信頼されたが政敵も多く、2代将軍頼家のときに鎌倉を追われ駿河の清見関の近くで地元の武士に襲われ一族全員が死亡しており、このため深沢の五輪塔は供養塔と考えられる。</p> <p>御霊神社(ごれいじんじゃ)は、梶原景時が建久元年(1190)に再建整備したと伝わる。土地の祖先の御霊を祀る御霊社とも呼ばれ、このあたりでは鎌倉・藤沢あたりを開発した鎌倉権五郎景正を祀っている。拝殿東側の崖には五輪塔や庚申塔などの石塔が数多く残されており、五輪塔は梶原氏代々の供養塔とか、新田義貞の鎌倉攻めの際の戦死者の供養塔ともいわれている。</p> <p>御霊神社より閑静な住宅街を抜ける緩やかな上り坂を進み、鎌倉市のほぼ中央に位置する鎌倉中央公園に至り昼食休憩した。鎌倉中央公園は平成十六年(2004)に全体開園した面積23.7haの風致公園。谷戸と呼ばれる豊かな自然を生かし、農業体験など多様な余暇活動ができる都市緑化植物園として「緑の相談所」を開設し、緑化推進の拠点ともなっている総合公園である。</p> <p>鎌倉中央公園より住宅街の小路ばかりを通り北鎌倉駅に向かう。途中に北大路魯山人の星岡窯旧跡や、隠れキリシタンの足跡がある光照寺の前を通る。北鎌倉駅西口にて解散。</p>	
<p>参加者の状況・意見など：</p> <p>やや高低差のある行路であったが爽やかな好天下で、楽に歩けた。</p>	
<p>次回の予定：</p> <p>バス探訪 : 11月30日(金)7時15分 かながわ信用金庫 金沢文庫支店前 次 回 : 12月 6日(木)10時 江ノ電 極楽寺駅前</p>	